



平成 22 年 11 月 30 日

各位

会社名 株式会社ネプロジャパン
代表者名 代表取締役社長 小澤 正彦
(JASDAQ・コード 9421)
問合せ先
役職・氏名 取締役常務執行役員 筒井 俊光
経営管理本部長
電話 03-6803-3976

当社子会社における「継続企業仮定に対する疑問」の注記に関するお知らせ

当社連結子会社である株式会社ネプロアイティ(以下、ネプロアイティ)は、当第 2 四半期におきまして、同社会計監査人である三逸(サミル)会計法人(韓国ソウル市)より「継続企業仮定に対する疑問※1」が存在する旨の注記が付された「半期財務諸表に係る検討報告書※2」を受領いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期財務諸表

当社子会社であるネプロアイティは、インターネット広告に関わる事業及びモバイルサイト運営を中心に事業を展開しており、韓国 KOSDAQ に上場しております。

同社は平成 21 年 4 月の KOSDAQ 上場後、主力事業でありながら収益性の低下が見られていたアフィリエイト(成果報酬型広告)事業の縮小を進め、収益力が高く将来性が見込めるメディアプラットフォームの立ち上げを目指してまいりました。

しかしながらメディアプラットフォームの立ち上げが遅れている中、先行投資的に無形固定資産等を取引した結果、償却費が増加し売上・利益が減少しております。

当第 2 四半期につきましては、収益性の低下した資産・事業の整理を進めつつ、平成 22 年 3 月に子会社化したゲーム開発会社株式会社モバイル&ゲームスタジオとの協業の下、現在市場が拡大しているスマートフォン及びソーシャルアプリ等のプラットフォーム向けコンテンツの提供に向けラインナップの強化を進めてまいりましたが、事業撤退に伴う特別損失などを計上した結果、四半期純損失は 693 百万円※3 となり、また財政状態におきましても当第 2 四半期末における流動資産が流動負債を下回る状況となっております。

これらの状況から、当第 2 四半期「半期財務諸表に係る検討報告書」におきまして、「継続企業仮定に対する疑問」が存在する旨の注記が付されることとなりました。

2. 当該状況の解消に向けた取り組み

現在ネプロアイティは、スマートフォン及びソーシャルアプリ等のプラットフォーム向けコンテンツのラインナップの強化を推し進めており、開示日時点で 6 タイトルの iPhone ゲーム、13

タイトルの **Android** ゲーム、4 タイトルのソーシャルアプリを提供しております。

今後、上記コンテンツの収益化及び新たなコンテンツの投入による収益の拡大を目指すとともに、利益面におきましては、上期における無形固定資産等の減損処理に伴う償却費負担の減少が見込まれますが、今後、更なる販管費の削減により利益の確保に努めてまいります。

また、財務面につきましては、新規投資の抑制及び調達先の確保等財務体質の強化に向けた取り組みを進めてまいります。

3. 今後の見通し

当社は、ネプロアイティの株式 606 百万円（持分比率 50.4%）及び貸付金の債権 500 百万円を保有しておりますが、ネプロアイティの業績につきましては、既に連結決算に取り込んでいるため、本件が当社連結決算に与える影響はありません。

今後、本件に係る経過及び同社への対応につきまして開示すべき事実が発生した場合は、速やかに開示いたします。

※1 国内における「継続企業の前提に関する重要な疑義」に相当するものであります。

※2 国内における「監査報告書」に相当するものであります。

※3 ネプロアイティ及び同社連結子会社株式会社モバイル&ゲームスタジオの連結決算（韓国会計基準）の数値であります。

以上